秦野市行政提案型協働事業テーマ

テーマ	地域で取り組む！空家の発生予防
担当課	交通住宅課
事業内容（背景や課題等）	人口減少、少子超高齢化により、今後増加が見込まれる空家の発生を予防するため、市と自治会が協力し、セミナーや個別相談会を開催し、将来的にマイホームを空家にしないよう、家族で、地域で取り組もうという意識を啓発する。また、空家予備軍（高齢者単身世帯・高齢者夫婦のみ世帯）をマッピング化し、情報を共有する。 この活動を市内にＰＲするため、市の広報媒体を活用し、広報する。
これまでの市の取り組み	令和５年 11 月　空家発生予防のセミナー（市と行政書士会との共催）
市民活動団体に期待する役割（予定）	・空家予備軍（高齢者単身世帯・高齢者夫婦のみ世帯）の把握 ・セミナー等開催の周知、参加 ・空家発生予防の情報共有 ・会場の確保
担当課の役割（予定）	・連携協定団体（宅建協会や行政書士会等）との連絡調整、講師派遣 ・市の情報提供（空家発生予防、高齢者見守り） ・セミナーの開催等に伴う資料等の印刷 ・広報
概算事業費	２０６，０００円 （内訳） 講師謝礼（セミナー・相談会開催時謝礼）　１９６，０００円 セミナー　１回開催　1 時間当たり 14,000 円×2 時間×1 人＝ 28,000 円 相談会　１回開催　1 時間当たり 14,000 円×3 時間×4 人＝168,000 円 ※相談会は、行政書士、宅建協会の専門相談ブース（各２人）を設ける。 ※セミナーは５０名程度の参加を想定。 消耗品費（セミナーや相談会開催時用）１０，０００円
補足事項	